

高畠町公式マスコットキャラクター



たかっき

はたっき

平成29年度 第1回高畠町景況調査結果 (平成29年6月実施)

平成29年8月
高畠町商工観光課

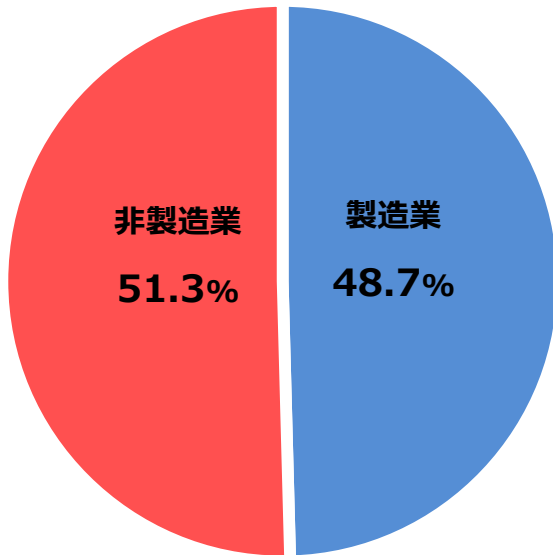


1. 調査概要及び回収結果

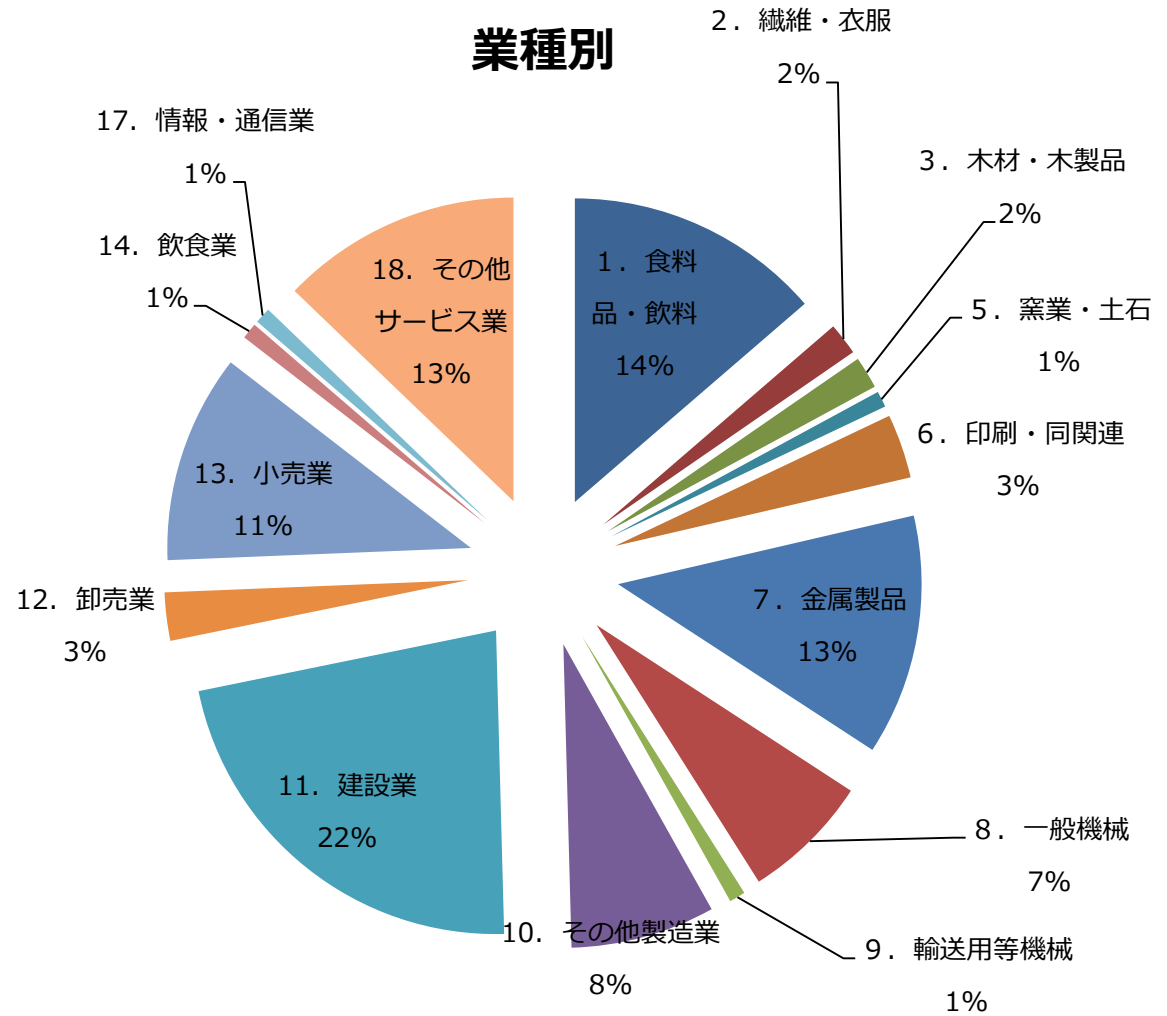
1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、政府による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1) 標本数：町内事業所（個人事業主も含む）174事業所
(2) 調査方法：調査票の配布（郵送法）、回収（FAX及び持参）
(3) 調査期間：平成29年5月25日～平成29年7月7日
4. 回収結果 117事業所（回収率67.2%）
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.（ディフュージョン・インデックス）」を採用
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。
本調査では、「増加（良い・上昇・過剰等）」と回答した事業所数の構成比から、「減少（悪い・低下・不足等）」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

<回答事業所内訳>

製造業・非製造業別

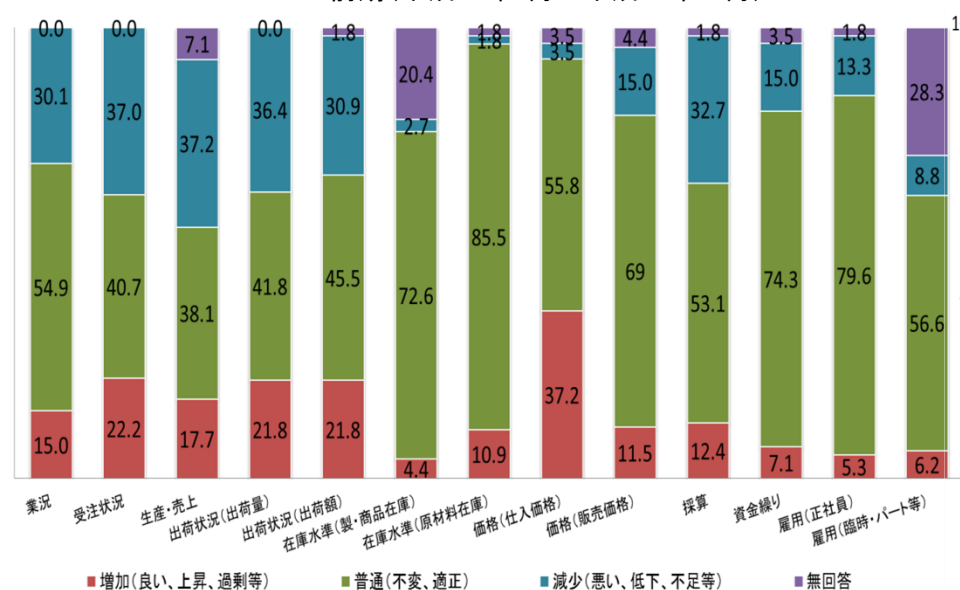


業種別

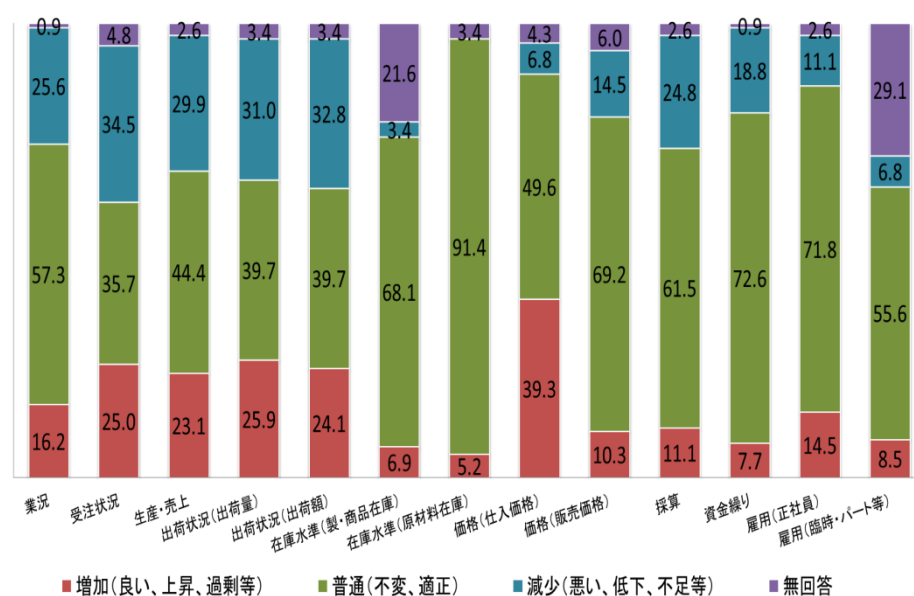


2. 各設問のデータ比較(%)

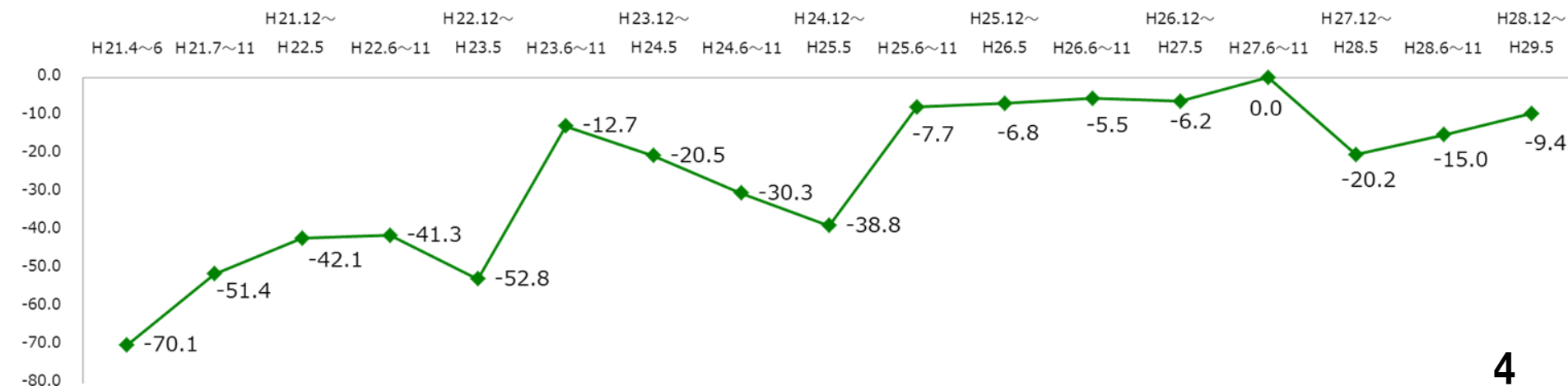
前期(平成28年6月～平成28年11月)



今期(平成28年12月～平成29年5月)



調査開始からの業況D.Iの推移



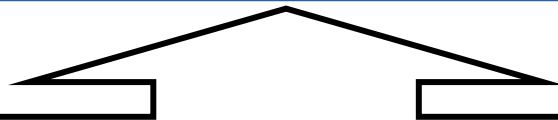
3. D.I.から見た景気予測

高畠町景況調査(DI)から見た景気情勢推移(平成29年6月調査)

																		今回調査	
No.	調査項目	H21 4月～6月	H21 7月～11月	H21.12月 ～ H22.5月	H22 6月～12月	H22.12～ H23.5月期	H23.6～ 11月期	H23.12～ H24.5月期	H24.6～ 11月期	H24.12～ H25.5月期	H25.6～ 11月期	H25.12～ H26.5月期	H26.6～ 26.11月期	H26.12～ H27.5月期	H27.6～ 27.11月期	H27.12～ H28.5月期	H28.6～ 28.11月期	H28.12～ H29.5月期 実績	H29.6～ 29.11月期 予想
1	業況 「良い」－「悪い」の指数	▲ 70.1	▲ 51.4	▲ 42.1	▲ 41.3	▲ 52.8	▲ 12.7	▲ 20.5	▲ 30.3	▲ 38.8	▲ 7.7	▲ 6.8	▲ 5.5	▲ 6.2	0.0	▲ 20.2	▲ 15.0	▲ 9.4	▲ 11.1
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」－「減少」の指数	▲ 80.3	▲ 50.1	▲ 43.1	▲ 26.1	▲ 23.6	▲ 4.4	▲ 13.8	▲ 27.1	▲ 34.7	8.0	12.8	2.4	▲ 1.2	10.1	▲ 18.2	▲ 14.8	▲ 9.5	▲ 3.6
3	生産・売上 「増加」－「減少」の指数	▲ 70.1	▲ 48.6	▲ 31.9	▲ 14.3	▲ 40.3	▲ 3.2	▲ 8.2	▲ 25.0	▲ 33.7	2.9	1.9	0.0	▲ 6.2	▲ 4.6	▲ 21.0	▲ 19.5	▲ 6.8	▲ 2.6
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」－「減少」の指数	▲ 70.3	▲ 47.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 24.4	9.4	▲ 17.5	▲ 43.9	▲ 35.6	3.5	11.5	14.0	▲ 5.7	▲ 2.0	▲ 21.7	▲ 14.5	▲ 5.2	0.0
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」－「減少」の指数	▲ 67.6	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 29.8	3.1	▲ 32.5	▲ 46.3	▲ 40.7	0.0	9.6	10.5	0.0	▲ 2.0	▲ 15.0	▲ 9.1	▲ 8.6	▲ 1.7
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」－「不足」の指数	▲ 5.2	2.7	2.9	6.3	8.3	3.2	9.6	7.9	9.2	7.7	3.9	▲ 0.9	4.4	4.6	5.7	1.8	3.4	0.9
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」－「不足」の指数	16.2	11.8	0.0	10.0	5.4	9.4	2.5	12.2	6.8	14.0	3.8	7.0	0.0	3.9	3.3	9.1	5.2	5.2
6	価格【仕入価格】 「上昇」－「低下」の指数	▲ 3.9	2.8	18.8	27.0	32.0	34.9	32.9	32.9	50.0	45.2	59.2	49.1	48.7	28.7	25.0	33.6	32.5	29.1
	価格【販売価格】 「上昇」－「低下」の指数	▲ 51.9	▲ 52.8	▲ 40.6	▲ 30.1	▲ 26.4	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 21.1	▲ 23.5	▲ 7.7	8.7	1.8	4.4	▲ 0.9	▲ 4.8	▲ 3.5	▲ 4.3	▲ 7.7
7	採算 「好転」－「悪化」の指数	▲ 70.1	▲ 55.5	▲ 39.1	▲ 27.0	▲ 54.1	▲ 25.4	▲ 24.7	▲ 27.6	▲ 35.7	▲ 8.7	▲ 20.4	▲ 9.1	▲ 9.7	▲ 8.3	▲ 16.1	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 16.2
8	資金繰り 「好転」－「悪化」の指数	▲ 50.6	▲ 40.3	▲ 23.2	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 20.5	▲ 22.4	▲ 31.6	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 5.5	0.0	▲ 7.4	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 12.0
9	雇用【正社員】 「増加」－「減少」の指数	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 10.3	▲ 9.6	1.4	▲ 11.1	12.3	▲ 2.6	▲ 5.1	1.0	▲ 7.8	▲ 3.6	0.0	▲ 5.6	4.0	▲ 8.0	3.4	6.8
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」－「減少」の指数	▲ 15.6	1.4	▲ 5.8	7.9	▲ 5.5	0.0	16.4	1.3	▲ 1.0	1.9	1.9	0.0	3.5	1.9	0.8	▲ 2.7	1.7	2.6

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、前期に比べ改善しており、持ち直しの動きが見られる。



- (1) 業況D.IIについて、前期(▲15.0)から今期(▲9.4)と5.6ポイント上昇した。生産・売上が12.7ポイント、出荷状況【出荷量】が9.3ポイント上昇しており、採算は6.7ポイント上昇している。

来期については、受注や生産・売上、出荷状況について改善することが予想されているが、先行きの不透明感から、業況や採算、資金繰りについて下降が予想されている。

- (2) 雇用D.IIについて、今期は正社員(前期▲8.0から今期3.4)及び臨時・パート社員等(前期▲2.7から今期1.7)、共にプラスの値に転じている。

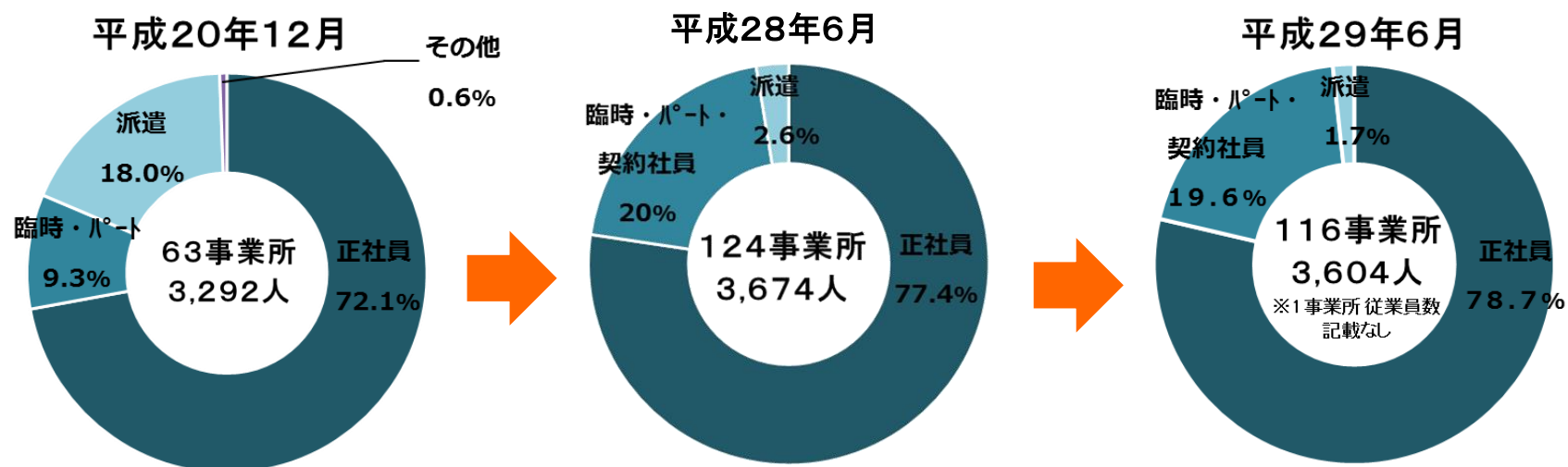
来期については、さらに人員を増やしたいという人手不足感の高まりから、正社員、臨時・パート社員等共に改善が見込まれている。

5. 事業所、業界の動向

No.	悪い
1	デフレ再燃で売れない。スーパーの安い商品しか売れない。
2	先が見えない。その月その月を過ごしている状況なので来期までの答えは記入できません。5月が今までになく悪かった。6月で何とかもちこしたい。
3	今、介護職員と看護職員の求人を出していますが、問い合わせの電話が1本もかかってきません。こんな、地方でも人材確保が困難になってきているのを痛感しています。

No.	その他
1	今は変わらずですが来期の予想は、良くわかりません。
2	特にございません。今後とも宜しくお願い申し上げます。

6. 雇用状況の推移

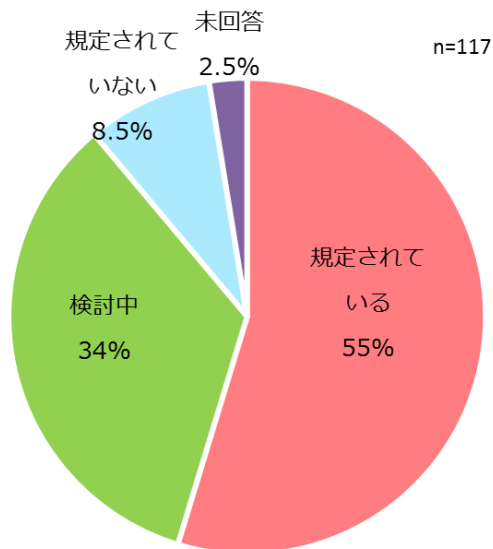


調査を開始した平成20年12月と比較し、総従業員の割合について、今期は正社員は6.6%、臨時・パート等は10.3%増加し、派遣は16.3%減少している。

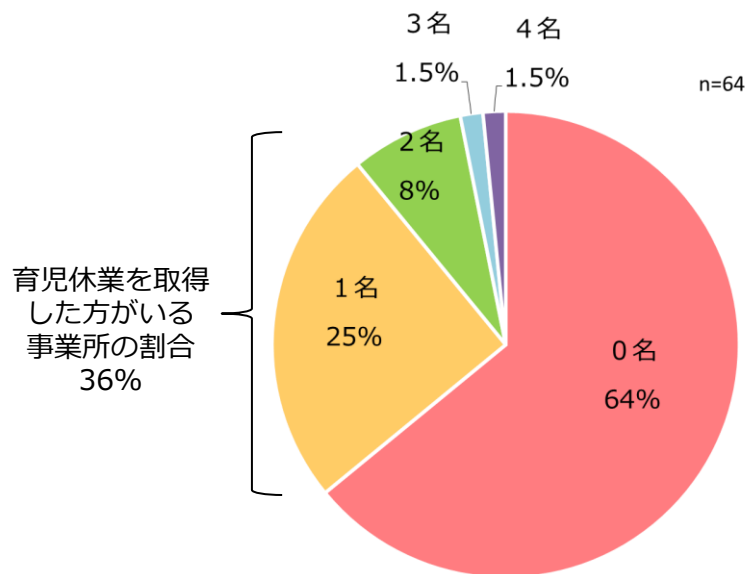
1年前との比較では、正社員が1.3%増加となっている。雇用情勢は改善しており、来期（H29.12調査予定）も正社員、臨時・パート・契約社員共に増員が見込まれる。

7. 育児休業制度について

Q. 就業規則等に育児休業制度が規定されていますか？



Q. 「はい（規定されている）」と回答いただいた事業所の方へ、過去1年間に育児休業を取得した方は何名ですか？



平成29年3月に改正育児・介護休業法が公布され、10月から施行されます。改正内容は、育児休業が2歳まで取得可能となることや、プライバシー保護の観点から事業主が個別に制度を周知すること、育児目的休暇の導入促進などです。

今回の調査では、育児休業制度の規定について設問を設けました。町内においては、制度が規定されている事業所が55%であり、その内取得した方がいる事業所は36%という結果でした。期間内に対象者がいない事業所もあったようです。今後も引き続き、国・県と連携して制度の周知及び啓発に努めてまいります。